

食 味 向 上 剤

甘彩六花

アマイロリッカ

肥料登録番号 生第 100558 号

含有成分 P-1.6% K-0.3%

主原料：過りん酸石灰、塩化加里、ブドウ糖

国産

pH2.0~3.5

品質向上と収入増加を 同時に叶えるただ一つの肥料

残留硝酸を減少させ、もっと美味しく、もっと安全な作物へ。



みかん、リンゴ、梨などの果樹から、
イチゴ、トマトなどの果菜はもちろん、
ホウレンソウや小松菜の葉物類まで、
すべての作物に圧倒的な
効果を発揮します！



容 量 200mlボトル、450mlスプレー、500mlボトル、2kgボトル、5kg箱、10kg箱

甘彩六花の圧倒的な効果とは？

効果1 圧倒的な食味と色つや向上効果！

糖の生成を促進するため、果実や野菜の糖度が増加し、更に苦みやエグ味のもととなる残留硝酸態窒素が減少することで、食味が圧倒的に向上します。また、細胞分裂が促進されることで、輝くような色艶を生み出します。

効果2 作物内の硝酸値を大幅に減少！

野菜の苦味やエグみの原因であり、また、発ガン性物質の疑いで問題視されている作物内の残留硝酸。甘彩六花は、特殊酵素の働きでこの硝酸値を大幅に減少させることが可能に。ホウレンソウなどの試験結果では、施肥しない同条件との比較で、残留硝酸値が1/2から1/3程度まで減少させることが確認されています。

効果3 隔年結果の軽減

生殖成長促進効果が高いため、花芽分化を促進し質の良い花を沢山咲かせます。温州ミカンの裏年を無くし、収量増加に大きく貢献します。

効果4 細胞分裂の促進

細胞分裂を促進し、細胞の数を増やして肥大をさせるため、味が濃く、色が濃くなり、品質が格段に向上します。

【使用方法】

- 果実／果菜 花芽分化期、開花期、着果期、肥大期に、7日～10日おきで数回ずつ500倍希釈で葉面散布、又は1000倍希釈で灌水して下さい。
- 葉菜／根菜 定植後、収穫までに3～4回、500倍希釈で葉面散布して下さい。
- 1～2kg／10aが目安です。

※場所、時期、作物により使用方法は異なりますので、詳細はお問い合わせ下さい。

甘彩六花の使用方法

作物	使用時期	効果	使用方法	濃度	回数
柑橘類	花芽分化期	花数増加	葉面散布	500倍	2～3回
	開花期	細胞分裂促進			2～3回
	肥大期	肥大促進			3～4回
	着色期	糖度上昇・着色促進			2～3回
落葉果樹 リンゴ・梨・桃・柿 など	花芽分化期	花数増加	葉面散布	500倍	2～3回
	開花期	細胞分裂促進			2～3回
	肥大期	肥大促進			3～4回
	着色期	糖度上昇・着色促進			2～3回
果菜類 トマト・ピーマ ン・ナス・キュウ リなど	開花期	花数増加・着果促進	葉面散布または灌水*	500倍	2～3回
	収穫期	食味向上・肥大促進			10日に1度
イチゴ	花芽分化期	花芽分化促進・花数増加	葉面散布または灌水*	500倍	2～3回
	開花期	細胞分裂促進			2～3回
	収穫期	糖度上昇・色艶向上			10日に1度
ダイコン ニンジン	根茎肥大期	肥大促進・糖度上昇	葉面散布または灌水*	500倍	3～4回
コマツナ ホウレンソウ	本葉3枚目以降	収量増加・食味向上	葉面散布	500倍	3～4回
玉ねぎ	肥大期	肥大促進・糖度上昇	葉面散布または灌水*	500倍	5～6回
トウモロコシ	肥大期	肥大促進・糖度上昇	葉面散布	500倍	3～4回
豆類	花芽分化期	花数増加	葉面散布	500倍	1～2回
	開花期	肥大促進			1～2回
花卉	花芽分化期	花数増加	葉面散布または灌水*	500倍	2～3回

＊灌水時に希釈倍率を勘案されない場合の目安は1～2kg/10aです。